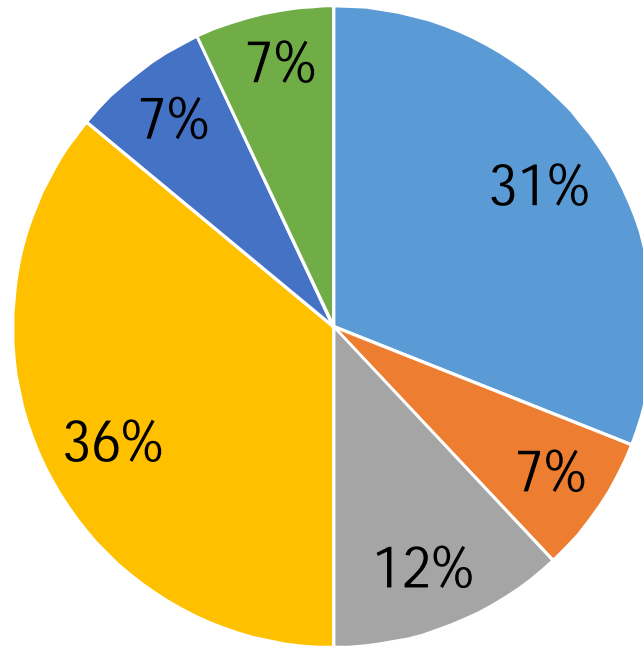


長期休暇中の 小学生対象保育支援に関する アンケート調査結果

ダイバーシティ推進センター

- **調査目的**：本学に在籍、在学するすべての方のワーク・ライフ・バランスに配慮した労働環境の整備や意識改革を推進する取り組みの一環として、小学校の長期休暇中(春・夏休み期間等)における、小学生対象保育支援について教職員・学生のニーズを把握し、今後の検討の参考とすることを目的としてアンケートを実施
- **調査対象**：本学に在籍、在学するすべての教職員・学生
- **調査方法**：業務掲示板、学生掲示板にて通知
ウェブ上で行い、アンケート回答を送信する方法
- **調査期間**：2018年10月11日～2018年10月31日
- **回答者数**：100名
- **調査結果**：以下のとおり

1. あなたの職種等についてあてはまるものを選んでください

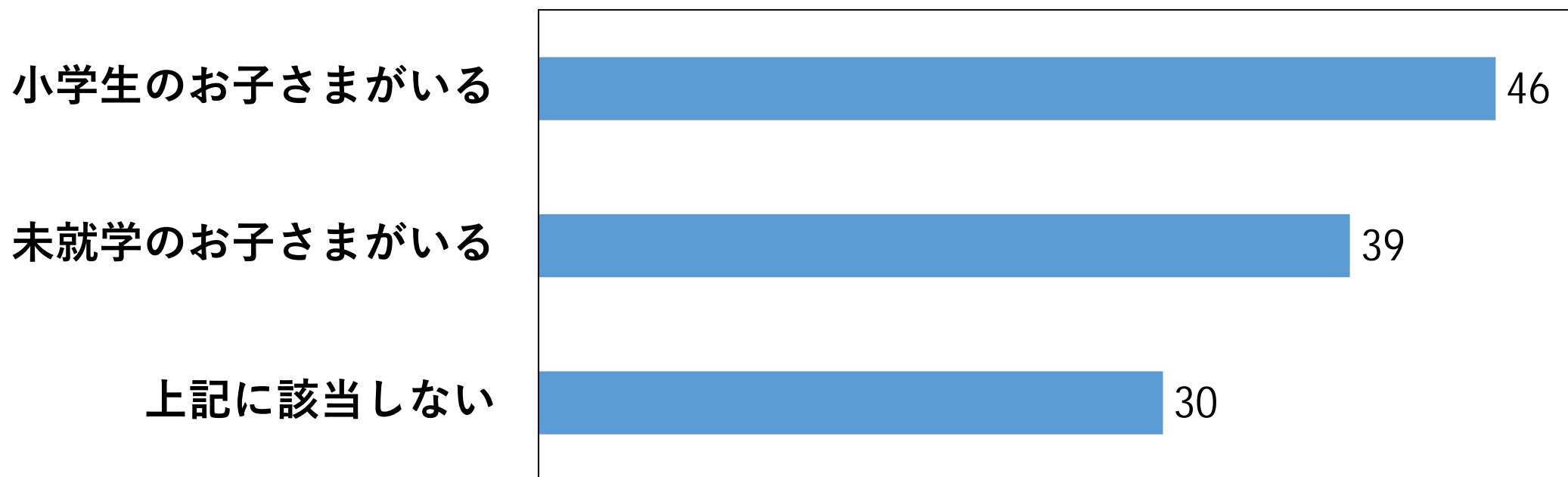


- 教員
- 研究員
- 技術職員
- 事務職員
- 学生
- その他

【その他 回答抜粋】

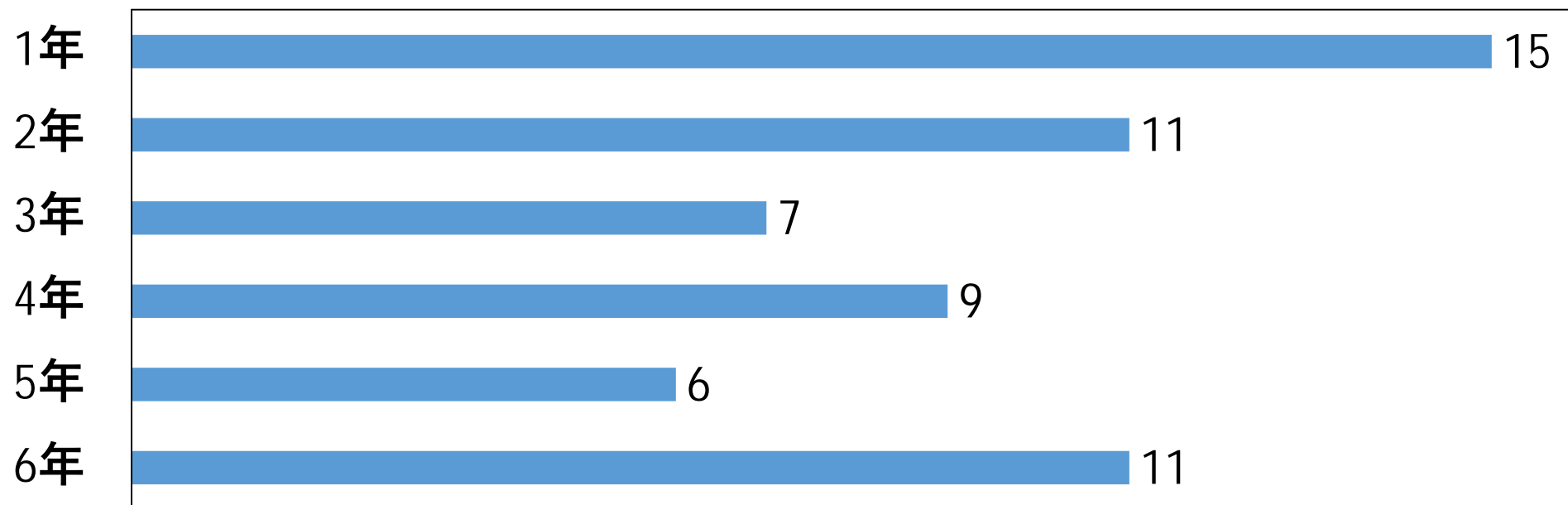
- ・ 補佐員
- ・ U R A
- ・ 研究支援員

2. 現在のあなたの状況についてあてはまるものを選んでください。 (すべてのお子さまについてご回答ください)



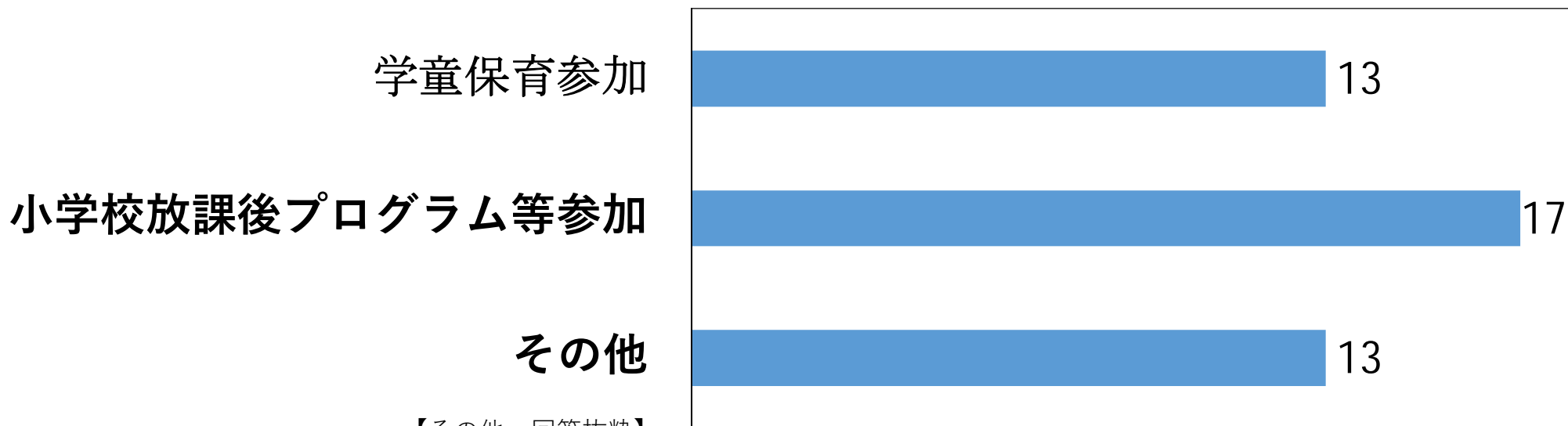
3. 【2.の「小学生のお子さまがいる」に該当された方のみ回答ください】（すべてのお子さまについてご回答ください）

①お子さまの学年にあてはまるものを選んでください



3. 【2.の「小学生のお子さまがいる」に該当された方のみ回答ください】（すべてのお子さまについてご回答ください）

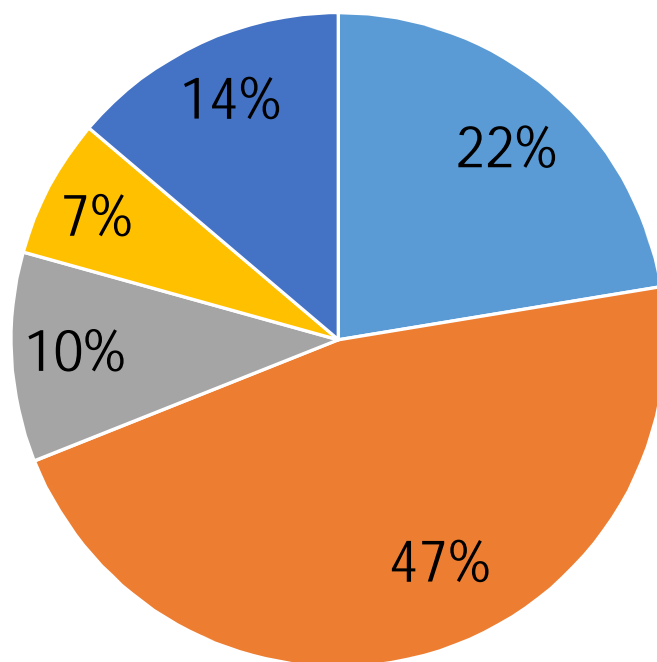
②お子さまの状況にあてはまるものを選んでください



【その他 回答抜粋】

- ・ 自宅で留守番
- ・ 祖父母宅
- ・ 塾

4. お子さまの参加を希望しますか



■ 参加を希望する

■ 検討する

■ 参加を希望しない

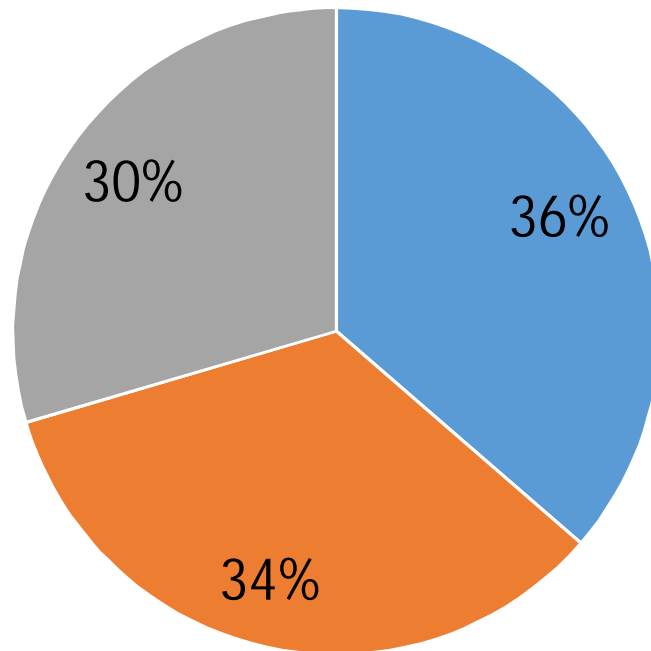
■ 今後小学生になったら参加を希望する

■ その他

【その他 回答抜粋】

- ・近場なら良いが、電車等を使い継いでまで参加はしないと思う
- ・基本的には学童保育で預かってもらう予定であるが、休所日などに利用を希望する可能性はある

5. どのくらいの期間、実施するのがよいと思いますか(平日に限る)



■ 1週間（土日除く）

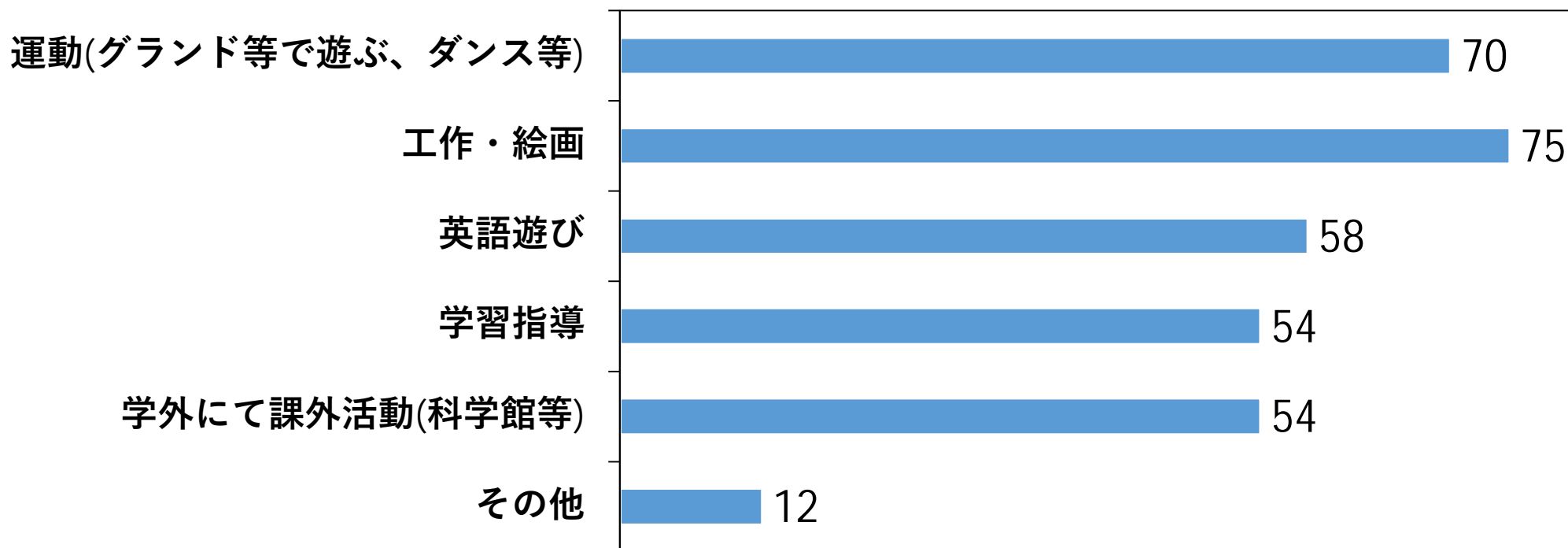
■ 連日10日程度（土日除く）

■ その他

【その他 回答抜粋】

- ・小学校の夏季休暇中すべての平日
- ・週3日程度
- ・事前申し込み制にしておいて、希望があった日にちに実施する

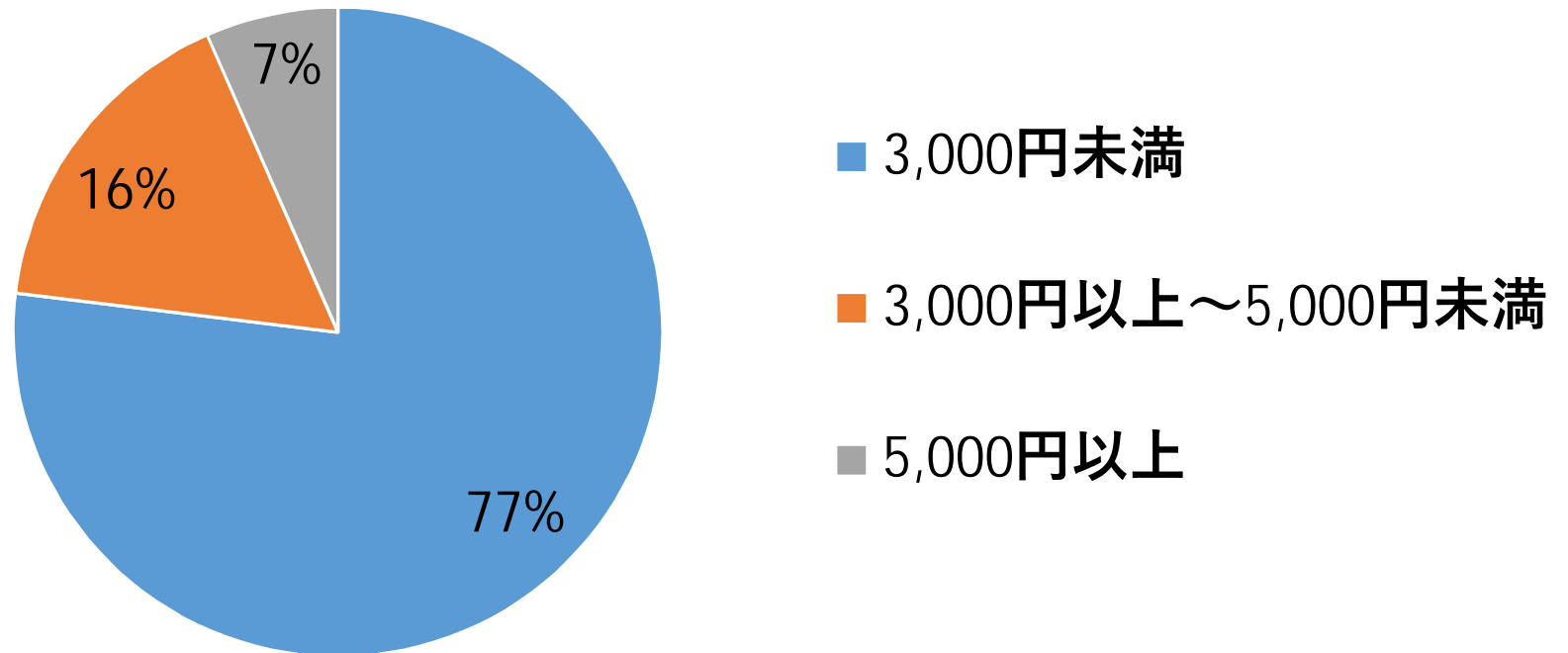
6. どのようなプログラム内容があるとよい と思いますか（複数選択可）



【その他 回答抜粋】

- ・研究室見学など大学でしかできないこと
- ・昆虫採集など
- ・毎日なのであれば、規則正しい生活を重点に

7. 利用金額(1日単位)はどのくらいまでの負担が適当と思いますか



8. 本保育支援における制度、施設、プログラム内容等へのご意見、ご要望等があればご記入をお願いします

No.	記載事項
1	保育スタッフは、元教員や資格取得者であれば安心するかと思う。
2	学内に保育施設があると良い
3	利用金額は無料にするのがよいと思います。
4	スタッフは有資格者が望ましい、気候に合わせて柔軟にプログラムを変更する等配慮を希望する。
5	1年生～6年生の幅広い年齢の児童が参加するため、年齢によりプログラムを分ける必要があると思います。1プログラムにつき1人は資格取得者を配置して欲しいです。また、短期の関わりとなるためスタッフとの信頼関係を築くのは難しいと思われます。そんな中、学外で課外活動を行うのは若干不安です（特に低学年）。
6	せっかく大学内で行うので、大学生との係わり合いがあるプログラムがあってもよいかと思います。
7	負担額は、収入ベースで差をつけてもいいと思う。
8	小学校はほぼ無料で放課後預かりがあるため、利用金額が高ければ意味がない。
9	子どもにも人間関係や各自の文化がありますので、預けられる場所があればよいだろう、という考えだけでは軌道にはのらない（結局あまり利用されずに使えない）と思います。
10	保育スタッフ全員が資格を持っている必要はないが、少なくとも1名は資格（保育士、教員免許、放課後児童支援員など）をもったスタッフがいた方が安心である。

No.	記載事項
11	本学ならではのプログラムを実施してほしい。留学生やその家族がスタッフとして入り、文化や言語を学んだり、簡単な実験や体験などを通じて、工学に親しみが持てることをしてほしい。
12	この保育支援の目的が、学童やトワイライトと同じようなものにするのか、名古屋工業大学特有のものにするのかによって、内容が異なると思います。利用金額が必要となる点、おそらく小学生の子は普段から会っている友達がいる場所を好む点などを考えると、学童やトワイライトとは異なる、名古屋工業大学特有の魅力も織り込む必要があると思います。
13	学校の枠を超えて本学に集まるため、工学科ゆえできることがあるといいと思います。
14	施設に関しては学習ができる場所、運動や遊びなどある程度体が動かせる場所2ヶ所ほどあればよいと思う。
15	知らない子同志でも気軽に参加できるプログラムだと安心です。
16	学童保育が終了した高学年児童へのプログラムはあってもよいかと思う。
17	夏休み、冬休みは、宿題があるため、午前中は自習室の提供だけでも助かります。お昼は、自習室まで子供を迎え行き、学食等で一緒に食べ、午後からは、鶴舞公園や、鶴舞図書館に引率してくれるスタッフをお願いだけでも助かります。もちろん、運動、工作、英語遊び、科学館への引率も随時、開催していただくと助かります。週5日勤務のため、なかなか連れて行ってあげることができません。一方、春休みは、宿題がないので、科学館への引率や、運動、工作、英語遊びなど、イベント系の行事があると助かります。特に、春休み中は年度の変わり目で忙しくて、どこにも連れて行ってあげることができません。
18	参加の子ども同士が関わりあって活動できるとよい
19	保育士の資格に関しては、あるに越したことはありませんが、小学生ならば資格がない方でも、信頼のおける方ならばいいと思います。とにかく職場（の近く）で見ただけだと、送迎も省けて、就労につきやすく助かります。
20	できれば実費を除き低料金で実施していただくとありがたいです。多少の学習時間（宿題含む）があると親がありがたく、多少の体を動かす時間があると子供がいやがらずに通ってくれると思います。
21	非常勤スタッフでも使いやすい制度にしてほしい。（特定の曜日や週のみ開催だと使いづらい。）
22	子供にとって家のようにくつろげる場所になるとよいと思います。
23	学童保育は、日本の家庭の多数を占めてきた共働きの家庭にとっては切実な問題であり、特に名古屋は保護者が運営主体である学童が多数あるため、むしろ親の負担が増えるという話もよく耳にしますので、大学としても対応を検討することは、大変重要なことかと思えます。特に、大学と小学校の学期が違うために生じる期間（一番忙しい学期末に小学校が夏休みに入るなど）に必要な保育支援のたいへん重宝されるのではないかと想像いたします。

No.	記載事項
24	夏休みの宿題の読書感想文やポスターなどもできるように見て頂けるとありがたいです。
25	楽しいカリキュラムがある事も魅力かもしれませんが、多期間利用することを想定して、低予算で安全性が配慮されていることのみ希望します。
26	広い教室が適当である、教員免許保有者による指導など資格を有しての方が安心
27	学童保育があっても、弁当が必要だとそれはそれでかなり大変ですので、おひるを出してほしい。
28	自習可能な場所の提供と勤務時間が長い場合は、外や体育館など遊べる場所の提供。

9. その他本学の育児支援制度についてご意見、ご感想、またダイバーシティ推進センターの活動へのご意見があればご記入をお願いします

No.	記載事項
1	あらゆる職種で各々ロールモデルとの座談会を開催してほしい。
2	(危険のない範囲で) 研究室や事務室等に (小学生に限らず) 子どもを連れてくるのが普通にある環境を望んでいます。
3	育児部分休業が小学校卒業まで取得できるようになれば働きやすくなると思います。小学生に家の施錠を任せて出勤するのは不安です。遅出という手もありますが、学童の迎えに間に合わなくなる可能性があります。
4	共稼ぎ家庭はどんどん増えていく状況だと思います。どちらか一方 (だいたい女性) が保育のためにキャリアを犠牲にすることのないよう、貴センターの更なる活躍を記念しています。
5	教員の場合、急な代わりはきかないため、支援制度の利用方法が見当たらない。
6	子供の長期休みの間、テレワークを導入してほしい
7	子供はかわいく、かけがいのない存在ですが、もう少し子育て中でも働きやすい環境になるといいなと思います。わたくし自身は正職員ではないので肩身もせまく、意見を言える存在ではありませんが、かりに正職員になったら、一層子育てとの狭間に苦しむきがして、今の選択肢となっております。学校、幼稚園の年間スケジュールが配布されると、自分の手帳とにらめっこの毎日です。自己都合ではありますが、それに加えて習い事もさせているとさらに予定はパズルの状態です。少しでも助けていただけたら、とてもありがたいです。
8	職場で子供を預けることができると大変ありがたいです。今は下の子は保育園に通っているので安心ですが、小学校の放課後プログラムに変更があり、低学年になるときに心配しています。上の子たちが放課後プログラムに通っていましたが時間が短く親も通わせるのが大変な上に、つまらないので子供もいやがって先生にもご迷惑をかけ、お互い大変でした。ぜひご検討いただきますようお願いいたします。

No.	記載事項
9	<p>ダイバーシティ推進センターの様々な活動や制度は非常に充実していると思います。さらなる充実のため、先進的な企業では既に積極的に導入が行われており「働き方改革」でも話題となっている「テレワーク」の本格的な導入支援を希望いたします（たとえば裁量労働制勤務となっている教員は、現在、大学に滞在して教育研究・業務をする時間が労働時間とされている（時間を報告するよう制度変更が試行されている）が、高速ネットワーク環境が整った現在、自宅やサテライト環境から学内へVPN接続すれば大学に滞在しなくてもポータルログインにより仕事時間の管理が容易であり、また学内に滞在している際と同等の作業が可能となるツールが名工大は既に完備しています。たとえば、学生との議論や会議などもSkypeでのコミュニケーションが容易であり、One Driveでの作業ファイルの共有するなど研究遂行に支障はまったくありません。大学としても通勤や電気代などの経費の節約にもつながるため、場所と時間を選ばない働き方ができるよう、時代に合わせた制度改革をセンターとしても積極的に関心をもっていただけるよう、またよりよい職場環境になるように是非とも推進していただければ・・・と希望いたします。）</p>
10	<p>働きやすい環境づくりを常に模索していただき、活動に感謝します。</p>
11	<p>今までに利用したことがありません。利用できる環境の整備をお願いしたい。</p>
12	<p>教授でも、片親は支援してほしい</p>
13	<p>子供の交通費が必要になるので、高額な費用がかかる講座でなくても、宿題をできるスペースや、体を動かせる場所の提供希望。</p>